

2023 年度 政策文化総合研究所 公開研究会等

「AI の浸透したデジタル社会と ELSI に関するワークショップ」結果概要

中央大学政策文化総合研究所「AI の浸透したデジタル社会における ELSI の観点からのルールに関する研究」（主査：国際情報学部大手英明特任教授）チームは、その活動の一環として、「AI の浸透したデジタル社会と ELSI に関するワークショップ※」を中央大学 ELSI センターと共催で、市ヶ谷田町キャンパスとオンラインのハイブリット形式で 2023 年 9 月 26 日（火）に開催しました。

※リンク：<https://www.chuo-u.ac.jp/research/institutes/policystudies/event/2023/08/67423/>

本ワークショップには現地とオンラインで、本学内外の教員や学生に加え、一般企業、ファンディングエージェンシー、省庁・地方自治体等からの 80 名を超える方が参加されました。

はじめに、須藤修教授（中央大学国際情報学部教授／中央大学 ELSI センター所長）より、開会のご挨拶をいただいた後、

第 1 部として、岡嶋裕史教授（中央大学国際情報学部教授／中央大学政策文化総合研究所長）より生成 AI とメタバースに関する最新の動向についてご講演があり、その後、学外からの招聘講師として 3 名の先生方（原田伸一朗先生、福井健策先生、山口真一先生）からそれぞれ、①「メタバースにおけるアバターの人格権」、②「生成 AI、メタバースと知財」、③「生成 AI がもたらす偽・誤情報新時代と求められる対策」についてご講演いただきました。生成 AI とメタバースという最新の動向を踏まえたプライバシー、知財、偽・誤情報という広範な課題について、国際的な議論の状況も含め、現状や各種取組、議論の動向をご解説いただきました。

第 2 部として、石井夏生利教授（中央大学国際情報学部教授／中央大学 ELSI センター副所長）をモデレーターとして、パネルディスカッションが行われました。偽・誤情報の流通・拡散への対抗手段・周知啓発方法や、メタバースにおける自己イメージコントロール権の問題、生成 AI に関する知財面の国際的なルール形成の在り方やデータのアーカイブの重要性など、多岐にわたる論点について活発な議論が行われました。

最後に、締め括りのご挨拶として、岩隈道洋教授（中央大学国際情報学部教授）から各分野に跨った総括的なコメントをいただいたうえで、小向太郎教授（中央大学国際情報学部教授）から閉会のご挨拶をいただきました。

本ワークショップの資料及び案内チラシは、下記のサイトにて公開されています。

○ 中央大学・政策文化総合研究所のワークショップ開催通知、当日資料

<https://www.chuo-u.ac.jp/research/institutes/policystudies/event/2023/08/67423/>

○ 同ワークショップ案内チラシ

https://www.chuo-u.ac.jp/uploads/2023/08/6200_%E3%80%90%E7%A2%BA%E5%AE%9A%E3%80%91%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%83%E3%83%97%E6%A1%88%E5%86%85%E3%83%81%E3%83%A9%E3%82%B7_230824set%E4%BF%AE%E6%AD%A3.pdf?1697595328022

講演とパネルディスカッションの様子は以下のとおりです。



「生成 AI とメタバースに関する動向」岡嶋 裕史・中央大学政策文化総合研究所長
／国際情報学部教授



「メタバースにおけるアバターの人格権」原田 伸一郎・静岡大学情報学部教授



「生成 AI,メタバースと知財」福井 健策・骨董通り法律事務所弁護士／日本大学芸術学部・神戸大学大学院・iU 等客員教授



「生成 AI がもたらす偽・誤情報新時代と求められる対策」山口 真一・国際大学 GLOCOM 准教授



「パネルディスカッション」モデレーター（左端）：石井 夏生利・中央大学国際情報学部教授／中央大学 ELSI センター副所長